



6年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和6年5月10日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL <http://www.misonoza.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎 敏明
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員総務経理部長 (氏名)島田 治彦 (TEL) (052) - 222 - 8202
 定時株主総会開催予定日 令和6年6月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 令和6年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期の業績 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期	3,610	32.3	217	—	207	—	178	—
5年3月期	2,729	132.9	△40	—	△58	—	△57	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
6年3月期	35.76	—	4.0	3.3	6.0
5年3月期	△11.64	—	△1.3	△0.9	△1.5

(参考) 持分法投資損益 6年3月期 — 百万円 5年3月期 — 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期	6,133	4,575	74.6	919.00
5年3月期	6,316	4,384	69.4	880.55

(参考) 自己資本 6年3月期 4,575百万円 5年3月期 4,384百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
6年3月期	532	△41	△233	1,081
5年3月期	624	△0	△238	823

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
6年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0.00	—	0.00
5年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0.00	—	0.00
7年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00		—	

3. 令和7年3月期の業績予想 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,530	△29.9	29	△86.6	17	△91.8	14	△92.1	2.81

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期	4,984,500株	5年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	6年3月期	5,294株	5年3月期	5,194株
③ 期中平均株式数	6年3月期	4,979,279株	5年3月期	4,979,306株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、消費者物価は上昇し、持ち直しに足踏みもみられましたが、景気及び個人消費は緩やかに回復している状況で推移いたしました。

当社におきましては、感染拡大予防対策を継続し、お客様と公演関係者の安心・安全を最優先に考え、安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、上演しております。

今後につきましても、感染拡大防止策を継続し、公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和5年4月から令和6年3月までに公演を35種類、上演日数として206日間、上演回数として296回（前年同期274回）の実施を致しました。

<当事業年度の上演実施作品>

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
陽春花形歌舞伎	4月1日～22日	22	40
ミュージカル『青春 POP ROCK ルーザーヴィル』	4月26日～30日	5	8
『ザ・ミュージック・マン』	5月6日～7日	2	3
純烈 御園座公演 スーパー・ササダンゴ・シアター	5月20日～21日	2	4
坂東玉三郎コンサート『あなたへ歌を』	5月27日～28日	2	2
ミュージカル『エリザベス・アーデンVSヘレナ・ルビンスタイン-WARPAINT-』	6月2日～4日	3	5
ミュージカル『She Loves Me』	6月8日～10日	3	5
少年忍者『俺たちのBANG!!!～大劇場を占拠せよ～』	6月13日～17日	5	8
『ザ・ニュースペーパー』	6月18日	1	1
御園座6月公演 松平健 辰巳ゆうと 桂米團治	6月21日～26日	6	9
山内恵介コンサート2023in御園座	7月1日～2日	2	3
鶴瓶御園座独演会	7月8日～9日	2	2
よしもと祭りだぜい！全11公演	7月11日～17日	7	11
夏だぜ!!! 吉本新喜劇&バラエティ公演	7月18日～23日	6	11
石川さゆり2023御園座スペシャル	7月25日～30日	6	6
ブロードウェイ・ミュージカル『ピーターパン』	8月5日～6日	2	3
舞台『千と千尋の神隠し』	8月13日～26日	14	18
ブロードウェイ・ミュージカル『ビートルジュース』	9月2日～8日	7	8
ザ・ニュースペーパー特別公演	9月10日	1	1
大地真央主演『最高のオバハン中島ハルコ』	9月13日～20日	8	12
舟木一夫御園座コンサート2023	9月22日～24日	3	3
片岡仁左衛門 坂東玉三郎 錦秋特別公演	10月7日～24日	18	16
明石家さんま座長公演 笑輪の笑い全国ツアー	10月28日～29日	2	3
梅沢富美男 水森かおり 特別公演	11月4日～13日	10	14
年末恒例大爆笑大会 よしもと爆笑公演	11月14日～19日	6	11
前川清スペシャルコンサートin御園座	11月23日	1	1
ミュージカル・ピカレスク『LUPIN～カリオストロ伯爵夫人の秘密』	12月7日～20日	14	18
加藤登紀子ほろ酔いコンサート	12月23日	1	1
荻野目洋子 Special Live 40th Anniversary in 御園座	1月6日～7日	2	2

ミュージカル『ベートーヴェン』	1月12日～14日	3	4
市川海老蔵改め 十三代目 市川團十郎白猿襲名披露 八代目 市川新之助初舞台二月御園座大歌舞伎	2月1日～17日	17	30
ミュージカル『トッツイー』	2月24日～3月3日	9	12
舞台『中村仲蔵』	3月7日～10日	4	6
御園座三月特別公演『水戸黄門』	3月14日～22日	9	14
吉本新喜劇&バラエティ公演	3月27日	1	1
合計		206	296

(上演日数には休演日も含みます)

〈公演中止となった当事業年度の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
該当なし		—	—
合計		—	—

この結果、当事業年度の売上高は、36億1千万円（前年同期は27億2千9百万円）となりました。売上高は増加し、利益面では、営業利益2億1千7百万円（前年同期は営業損失4千万円）、経常利益2億7百万円（前年同期は経常損失5千8百万円）、当期純利益1億7千8百万円（前年同期は当期純損失5千7百万円）となりました。

なお、当事業年度に予定していた公演をすべて順調に上演できましたので、公演中止に伴う特別損失はございません。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における流動資産の残高は、12億6百万円となり、前事業年度末に比べ2千7百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が2億8千7百万円増加した一方で、売掛金が1億8千万円、未収入金が5千万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、49億2千7百万円となり、前事業年度末に比べ2億1千万円の減少となりました。この主な要因は、建物が1億2千万円、機械及び装置が9千万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、61億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ1億8千2百万円の減少となりました。

(負債の部)

事業年度末における流動負債の残高は、6億8千万円となり、前事業年度末に比べ1億7千9百万円の減少となりました。この主な要因は、未払法人税等が5千4百万円増加した一方で、買掛金が2億5千2百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、8億7千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億9千4百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が2億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、15億5千7百万円となり、前事業年度末に比べ3億7千4百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、45億7千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億9千1百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が1億7千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ2億5千7百万円増加し、10億8千1百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億3千2百万円の収入(前期は6億2千4百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権1億8千万円、仕入債務2億5千2百万円の減少によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、4千1百万円の支出(前期は0百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出3千万円、有形固定資産の取得による支出1千1百万円によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億3千3百万円の支出(前期は2億3千8百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億2千4百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

原材料価格や賃金の上昇により、外注委託費、材料費、制作費等の売上原価が上昇するという前提で令和7年3月期業績見通しを集計しております。当劇場においては、引続き感染拡大予防対策を講じ、来場するお客様及び出演者・公演関係者の安全と安心を確保することに努めるとともに、公演の採算を鑑みながらコンテンツをより充実させた内容の公演を行ってまいります。

そうした前提のもと、令和7年3月期の当社主催の公演は、以下の通り予定しております。

歌舞伎公演につきましては、5月、6月と10月、3回の公演を予定しております。5月はスーパー歌舞伎「ヤマトタケル」を行います。

また、4月は大変好評頂いている舞台「千と千尋の神隠し」を行ったほか、ミュージカル、宝塚、舞台演劇、歌謡ショー、お笑いなど多種多様な公演を、公演種類として約30種類、公演回数として約226回提供してまいります。この中には、公演期間が10～25日間程度の期間に渡るものもあれば、1日間、2日間の短期公演もあり、さまざまなジャンルのファンの方に、何度も足をお運びいただけるような魅力ある公演を提供してまいります。

その結果、令和7年3月期の業績は、売上高25億3千万円(前年度比△29.9%)、営業利益2千9百万円(前年度比△86.6%)、経常利益1千7百万円(前年度比△91.8%)、当期純利益1千4百万円(前年度比△92.1%)を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類相当から5類に変更になり、社会経済活動は正常化に向かっています。こうした中、当社は感染対策の徹底を図り、当事業年度において予定していた公演をすべて順調に上演することが出来ました。

当事業年度の売上高は36億1千万円と、前年同期と比較して大幅に増加し、多種多様な公演実施いたしました。

また様々なコスト削減を実施して営業損益、経常損益、純利益についてもすべて黒字転換いたしました。

資金面でも当事業年度末の現金及び預金の残高に加え、資金計画に基づき取引金融機関と協議を行い、適切に運転資金を確保する計画を実行しております。

以上により当事業年度末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当事業年度 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	823,987	1,111,874
売掛金	257,672	77,248
貯蔵品	1,100	1,279
前渡金	12,698	381
前払費用	12,192	15,226
未収入金	50,067	-
未収還付法人税等	21,100	-
その他	4	177
流動資産合計	1,178,823	1,206,187
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,961,495	2,961,495
減価償却累計額	△635,744	△756,297
建物（純額）	2,325,751	2,205,197
構築物	13,927	13,927
減価償却累計額	△4,899	△5,832
構築物（純額）	9,028	8,095
機械及び装置	999,881	999,881
減価償却累計額	△460,861	△551,850
機械及び装置（純額）	539,020	448,031
工具、器具及び備品	213,994	225,358
減価償却累計額	△138,697	△162,811
工具、器具及び備品（純額）	75,296	62,546
土地	2,124,656	2,124,656
リース資産	8,100	8,100
減価償却累計額	△5,978	△7,135
リース資産（純額）	2,121	964
有形固定資産合計	5,075,875	4,849,491
無形固定資産		
電話加入権	72	72
ソフトウェア	235	44
リース資産	12,283	5,583
無形固定資産合計	12,591	5,701
投資その他の資産		
投資有価証券	43,399	57,074
長期前払費用	806	10,222
保険積立金	3,962	3,906
その他	1,659	1,659
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	49,087	72,123
固定資産合計	5,137,554	4,927,316
資産合計	6,316,377	6,133,504

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当事業年度 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	412,480	159,922
1年内返済予定の長期借入金	224,181	200,000
リース債務	8,791	7,427
未払金	24,386	31,979
未払法人税等	-	54,528
未払消費税等	27,084	45,938
前受金	156,253	168,873
預り金	3,029	5,722
賞与引当金	-	2,000
その他	4,277	4,324
流動負債合計	860,483	680,715
固定負債		
長期借入金	800,000	600,000
リース債務	7,427	-
繰延税金負債	257,484	267,494
退職給付引当金	4,962	7,888
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,071,374	876,882
負債合計	1,931,858	1,557,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金		
資本準備金	2,137,599	2,137,599
その他資本剰余金	22	22
資本剰余金合計	2,137,621	2,137,621
利益剰余金		
利益準備金	112,500	112,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	627,906	627,906
別途積立金	350,000	350,000
繰越利益剰余金	△1,088,347	△910,306
利益剰余金合計	2,058	180,099
自己株式	△39,817	△39,994
株主資本合計	4,371,800	4,549,663
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,718	26,242
評価・換算差額等合計	12,718	26,242
純資産合計	4,384,519	4,575,906
負債純資産合計	6,316,377	6,133,504

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当事業年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	2,729,705	3,610,137
売上原価	2,153,305	2,752,902
売上総利益	576,399	857,235
販売費及び一般管理費		
役員報酬	12,720	12,720
給料及び手当	43,817	36,192
退職給付費用	1,041	3,308
減価償却費	231,690	244,637
租税公課	59,810	39,189
広告宣伝費	7,630	4,764
支払手数料	58,930	57,704
その他	201,483	241,701
販売費及び一般管理費合計	617,124	640,218
営業利益又は営業損失(△)	△40,724	217,016
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,378	1,839
その他	6,331	1,733
営業外収益合計	7,710	3,573
営業外費用		
支払利息	13,256	10,721
支払手数料	10,500	-
その他	1,414	2,235
営業外費用合計	25,170	12,957
経常利益又は経常損失(△)	△58,184	207,632
特別利益		
補助金収入	108,851	20,245
特別利益合計	108,851	20,245
特別損失		
公演中止損失	72,324	-
臨時休業等による損失	29,160	-
特別損失合計	101,485	-
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△50,818	227,877
法人税、住民税及び事業税	977	39,978
法人税等調整額	6,162	9,858
法人税等合計	7,139	49,837
当期純利益又は当期純損失(△)	△57,957	178,040

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	—
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△1,030,389	60,016	△39,817	4,429,758	11,163	11,163	4,440,921
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)	△57,957	△57,957		△57,957			△57,957
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					1,555	1,555	1,555
当期変動額合計	△57,957	△57,957	—	△57,957	1,555	1,555	△56,402
当期末残高	△1,088,347	2,058	△39,817	4,371,800	12,718	12,718	4,384,519

当事業年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△1,088,347	2,058	△39,817	4,371,800	12,718	12,718	4,384,519
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)	178,040	178,040		178,040			178,040
自己株式の取得			△177	△177			△177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					13,523	13,523	13,523
当期変動額合計	178,040	178,040	△177	177,863	13,523	13,523	191,386
当期末残高	△910,306	180,099	△39,994	4,549,663	26,242	26,242	4,575,906

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当事業年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△50,818	227,877
減価償却費	250,134	244,637
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	150	2,926
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	2,000
受取利息及び受取配当金	△1,378	△1,839
支払利息	13,256	10,721
公演中止損失	72,324	-
臨時休業等による損失	29,160	-
補助金収入	△108,851	△20,245
売上債権の増減額 (△は増加)	△161,471	180,423
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,163	△178
未収入金の増減額 (△は増加)	△56	67
仕入債務の増減額 (△は減少)	362,256	△252,557
前受金の増減額 (△は減少)	8,742	12,619
預り金の増減額 (△は減少)	1,484	2,692
未払金の増減額 (△は減少)	5,362	7,592
未払又は未収消費税等の増減額	30,506	18,854
特別損益項目の調整額	△18,443	-
その他	△5,407	6,230
小計	431,113	441,821
利息及び配当金の受取額	1,378	1,839
利息の支払額	△13,262	△10,674
公演中止による支出	△72,324	-
臨時休業等による支出	△10,717	-
補助金の受取額	379,308	70,245
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△90,782	29,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	624,713	532,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△670	△11,363
その他	587	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82	△41,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△229,988	△224,181
リース債務の返済による支出	△8,663	△8,791
その他	-	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,651	△233,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	385,979	257,886
現金及び現金同等物の期首残高	438,007	823,987
現金及び現金同等物の期末残高	823,987	1,081,874

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当事業年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
1株当たり純資産額	880円55銭	919円00銭
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△11円64銭	35円76銭

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。なお、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載していません。

1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当事業年度 (令和6年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,384,519	4,575,906
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,384,519	4,575,906
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	4,979	4,979

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当事業年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△57,957	178,040
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△57,957	178,040
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,979	4,979

(重要な後発事象)

該当事項はありません。